

地理書講読1C- I

科目ナンバリング GGR-211
選択必修 2単位

吉野 裕

1. 授業の概要(ねらい)

この講義では全受講者・教員間で、文化地理学に関する書籍『世界の食べもの』を読み進めていきます。毎回、発表担当者は指定された部分を事前に読み、その要旨をレジュメにまとめます。そして講義時に、担当箇所の内容をわかりやすく他の履修者・教員に説明することになります。さらに発表内容について討論(質疑応答)を行い、書籍の内容や専門用語などに関する理解を深めていきます。このような作業を経験することで、みなさんは様々な社会の様子や記述された地域の特徴を把握できるようになります。これに加え、文章を要約する能力やプレゼンテーションの技術も身につけることが可能になります。これらの技術・能力は卒業論文を作成するうえで不可欠なものとなります。

2. 授業の到達目標

- ①地理学に関する書籍を読み、その要旨をレジュメ・スライドにまとめ、これらを用いて発表できる。
- ②書籍に記述されている地域の特徴を把握し、これを他者に説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

発表(80%)と受講態度(20%)をもとに総合的に評価を行います。
※受講態度: 質疑応答にのぞむ態度のことを意味します。

4. 教科書・参考文献

教科書
石毛直道 『世界の食べもの』 講談社

5. 準備学修の内容

講義の前後にテキストを熟読し、予習・復習をして下さい。また、地理学とその隣接分野の書籍を読み、知識の獲得に励んで下さい。

6. その他履修上の注意事項

- ・「地理書講読II」とあわせて通年で受講することを望みます。
- ・「地理学演習I・II」の履修希望者に対し、この科目の履修を推奨します。
- ・毎回、リアクションペーパーを配布します。このカードに質問・意見・要望などを自由に書いて提出して下さい(記載内容で減点することはありません)。
- ・出席回数が少ない、発表時に無断で欠席したなどの場合は、成績評価の対象とはしません。やむを得ない事情がある場合は、ご相談下さい。
- ・発表時にはパワーポイントを使用して下さい。これを機に、パソコン関連の知識・技術を磨いて下さい(使用方法は第2～3回目で学びます)。
- ・履修者の人数に応じて、授業の形式を変更する場合があります。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--|
| 【第1回】 | ガイダンス、受講上の諸注意、発表当番の決定 |
| 【第2回】 | 発表方法とレジュメの作成方法について学ぼう①資料の探し方 |
| 【第3回】 | 発表方法とレジュメの作成方法について学ぼう②発表準備 |
| 【第4回】 | 発表①朝鮮半島の食・世界における中国の食文化 |
| 【第5回】 | 発表②東南アジアの食事文化(1) |
| 【第6回】 | 発表③東南アジアの食事文化(2) |
| 【第7回】 | 発表④オセアニア 太平洋にひろがる食文化 |
| 【第8回】 | 発表⑤マグレブの料理 |
| 【第9回】 | 発表⑥日本の食事(1) |
| 【第10回】 | 発表⑦日本の食事(2) |
| 【第11回】 | 発表⑧日本の食事(3) |
| 【第12回】 | 発表⑨世界の米料理・すしの履歴書・麺の歴史・料理における野菜の位置・世界の酒 |
| 【第13回】 | 発表⑩茶とコーヒーの文明 |
| 【第14回】 | うま味の文化 |
| 【第15回】 | 総括 |